

第2期古賀市国民健康保険保健事業実施計画中間評価(案) 概要版

計画の概要

- 「第2期古賀市国民健康保険保健事業実施計画(以下、「データヘルス計画」という。))とは、健康や医療情報を活用して効果的かつ効率的な保健事業を実施するための計画です。
- 国民健康保険加入者の健康の保持増進を図ることで、医療費適正化と健康寿命の延伸(疾病・障害・早世の予防)をめざすものです。
- 本計画期間については、2018(平成30)年度から2023(平成35)年度の6年間を計画期間として策定しています。
- 本年は、データヘルス計画の中間年度であり、より効果的かつ効率的に保健事業を展開するために、進捗状況及び中間評価を行います。

データヘルス計画における成果目標と中間評価の結果

【成果目標】

● 中長期目標

P4

目標	現状値	中間評価			最終評価		
	平成28年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①1人当たり医療費(月額)の伸びを抑制	26,772円	平成28年度より減少			平成28年度より減少		
②虚血性心疾患の(新規)患者数の伸びを抑制	344人						
③脳血管疾患の(新規)患者数の伸びを抑制	323人						
④糖尿病性腎症の新規発症者数の抑制	27人						
⑤後発医薬品の普及率の向上(数量ベース)	68.7%	80.0%			80.0%		

● 短期目標

目標	現状値	中間評価			最終評価		
	平成28年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①特定健康診査受診率の向上	31.4%	35.0%	39.0%	44.0%	49.0%	54.0%	60.0%
②特定保健指導の実施率の目標達成	50.7%	60.0%					
③血糖コントロール不良者の割合の目標達成 HbA1c7.0%以上の割合	3.8%	4.0%					
④高血圧の者の割合の目標達成 Ⅱ度高血圧以上の割合	4.8%	5.0%以下			6.0%以下		
⑤脂質異常症の者の割合の目標達成 LDLコレステロール160mg/dl以上の割合の減少	12.4%	12.5%以下			13.0%以下		

【実施保健事業】(H31年度~R2年度)

P6~P15

1. 特定健康診査等未受診者勧奨事業

被保険者の健康状態を把握し、生活習慣病の早期発見と重症化予防につなげるため、受診率の向上を図ります。

2. 特定保健指導等未利用者勧奨事業

被保険者の健康状態を把握し、生活習慣病の早期発見と重症化予防につなげるため、保健指導の実施率の向上を図ります。

3. 生活習慣病重症化予防事業

生活習慣病重症化リスクの高い被保険者を対象に、医療機関の受診勧奨や保健指導を行い、生活習慣病の重症化を予防します。

4. 【平成30年度新規事業】

糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病性腎症重症化リスクの高い被保険者を対象に、医療機関への受診勧奨や保健指導を行い、生活習慣病の重症化を予防します。

5. 後発医薬品普及推進事業

後発医薬品の普及啓発を行うことで、本人の一部負担や保険者の医療費負担の軽減を図ります。

6. 頻回・重複受診対策(訪問健康相談事業)

医療機関へ頻回又は重複受診している被保険者又は重複・多剤投与者に、保健師等が指導や助言等を行うことで受診行動の改善や疾病の早期回復を支援し、医療費適正化を図ります。

【中間評価の結果】

● 中長期評価

P5

目標	実績値				
	目標値 (R2年度)	目標の基準 データ (H28年度)	H29年度	H30年度	H31年度
① 1人当たり医療費(月額)の伸びを抑制 (1人当たり医療費(月額)の伸び率の抑制)	減少	26,772円 (104.5%)	27,983円 (102.2%)	28,596円 (103.9%)	29,697円 未確定
② 虚血性心疾患の(新規)患者数の伸びを抑制	減少	344人	421人	227人	200人
③ 脳血管疾患の(新規)患者数の伸びを抑制	減少	323人	275人	252人	285人
④ 糖尿病性腎症の新規発症者数の抑制	減少	27人	26人	36人	24人
⑤ 後発医薬品の普及率の向上(数量ベース)	80.0%	68.7%	73.3%	76.9%	76.7%

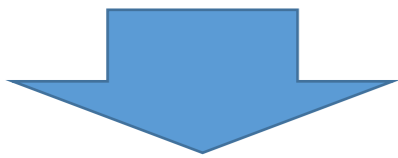
● 短期評価

目標	実績値				
	目標値 (R2年度)	目標の基準 データ (H28年度)	H29年度	H30年度	H31年度
① 特定健康診査受診率の向上	44.0%	31.4%	32.4%	29.5%	33.2%
② 特定保健指導の実施率の目標達成	60.0%以上	50.7%	36.9%	67.3%	70.8%
③ 血糖コントロール不良者の割合の目標達成 (HbA1c7.0%以上の割合)	4.0%以下	3.8%	4.0%	5.0%	9.5%
④ 高血圧の者の割合の目標達成 (Ⅱ度高血圧以上の割合)	5.0%以下	4.8%	7.1%	6.9%	6.3%
⑤ 脂質異常症の者の割合の目標達成 (LDL-C 160 mg/dl 以上の割合の減少)	12.5%以下	12.4%	13.0%	15.7%	15.6%

【健康課題】

P16~P17

- 一人当たりの医療費は、平成28年度以降年々増加していますが、医療費の伸び率については、横ばい。
(資料編:図表5)
- 糖尿病や慢性腎臓病(透析あり)の医療費は、年々上昇(資料編:図表7)し、短期目標となっている血糖コントロール不良者の割合も増加。(資料編:図表15)
- 特定健診受診率は、目標値には達していないが、平成31年度は33.2%と向上。
- 特定保健指導実施率は、目標値の60.0%を10.8ポイント上回り、平成31年度は70.8%となっている。
- 虚血性心疾患及び脳血管疾患の新規患者数の伸びは減少。
- 糖尿病性腎症の新規患者数の伸びは、横ばい。
- 「高血圧の者の割合」「血糖コントロール不良者の割合」「脂質異常症の者の割合」については、健診受診率の向上に伴い増加。下記理由が考えられる。
⇒〇5年間1度も特定健診を受診していない新規受診者の有所見が多いこと。
○毎年健診を受診しない不定期受診者が、健診を受診しない期間に知らずに検査データが悪化していること。



- 糖尿病を要因とする糖尿病性腎症の重症化予防については、最優先に取り組むべき課題。
- 今後も生活習慣病重症化予防のため、特定健診受診率の向上を図るとともに、ハイリスク者への保健指導が重要。

新たな課題を踏まえた目標値

● 中長期目標

一人当たり医療費(月額)の伸びと伸び率の抑制							
H28年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
26,772円	目標	平成28年度より減少					
104.5%	実績	28,596円	29,697円				
	伸び率	103.9%	集計中				
虚血性心疾患の新規発症者数の減少							
H28年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
344人	目標	平成28年度より減少					
	実績	227人	200人				
脳血管疾患の新規発症者数の減少							
H28年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
323人	目標	平成28年度より減少					
	実績	285人	252人				
糖尿病性腎症の新規発症者数の減少							
H28年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
27人	目標	平成28年度より減少					
	実績	36人	24人				
《新規》高額になる疾患(脳血管疾患)の医療費の抑制							
H31年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
1.3億円	目標	平成31年度より減少					
	実績	1.1億円	1.3億円				
《新規》高額になる疾患(虚血性心疾患)の医療費の抑制							
H31年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
5.7千万円	目標	平成31年度より減少					
	実績	8.1千万円	5.7千万円				
後発医薬品の新普及率の向上(数量ベース)							
H28年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
68.7%	目標	80%以上					
	実績	76.7%	76.7%				

● 短期目標

P16~P17

特定健診受診率の向上							
H28年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
31.4%	目標	35.0%	39.0%	44.0%	49.0%	54.0%	60.0%
	実績	29.5%	33.0%				
特定保健指導の実施率の目標達成							
H28年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
50.7%	目標	60.0%以上					
	実績	67.3%	70.8%				
血糖コントロール不良者の割合の目標達成(HbA1c7.0%以上の割合)							
H28年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
3.8%	目標	4.0%以下					
	実績	5.0%	9.5%				
高血圧の者の割合の目標達成(Ⅱ度高血圧以上の割合)							
H28年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
4.8%	目標	5.0%以下			6.0%以下		
	実績	6.9%	6.3%				
脂質異常の者の割合の目標達成(LDLコレステロール160mg/dl以上の割合)							
H28年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
12.4%	目標	12.5%以下			15.5%以下		
	実績	15.7%	15.6%				
《新規》健診受診者のHbA1c8.0以上の未治療者の割合の減少							
H31年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
4.0%	目標	-			平成31年度より減少		
	実績	12.0%	4.0%				
《新規》健診結果から見た糖尿病性腎症第3期以降の未治療者の割合の減少							
H31年度 (目標の基準データ)	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
38.2%	目標	-			平成31年度より減少		
	実績	51.9%	38.2%				
内臓脂肪症候群該当者の割合の減少							
H28年度	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
13.8%	目標	13.0%以下					
	実績	16.3%	17.4%				
内臓脂肪症候群予備群の割合の減少							
H28年度	年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
11.4%	目標	11.5%以下					
	実績	10.4%	10.5%				

P18~P19

(1) 特定健康診査等未受診者勧奨事業

- 無関心層への受診勧奨
 - ・AI(人工知能)を活用し、未受診者の特性に応じた効果的な受診勧奨。(新規)
 - ・特定健診初年度となる40歳受診者へ新たなインセンティブを図る。(新規)
- 継続受診率の維持・向上
 - ・電話勧奨を主とした、毎年の継続受診勧奨。
 - ・医療機関との連携による受診勧奨。
 - ・けんしん割等の内容の充実と早期からの啓発。
- 健診周知・啓発の強化
 - ・地域における健診の周知及び他課との連携による受診勧奨。
 - ・受診率の低い行政区における区長等との連携による受診率の向上。
 - ・古賀市ホームページ、Facebook等を活用した周知。
 - ・けんしんガイド(冊子型)を各戸配布。
- 関係機関との連携による受診勧奨
 - ・古賀市健康課題を共有することによる特定健診受診勧奨協力依頼。
 - ・市民国保課での、窓口や保険証送付時の特定健診受診勧奨。

(2) 糖尿病性腎症重症化予防事業

- 糖尿病治療中断者及び治療中のコントロール不良者に対する医療機関への受診勧奨。

- 糖尿病が重症化するリスクがある人の、微量アルブミン尿検査を実施(二次健診)。
- 特定健診未受診者でレセプトから抽出した糖尿病中断者には、文書等にて治療継続を促す。
- 対象者については、糖尿病性腎症管理台帳を作成し、継続的な管理を行う。

(3) 早期介入保健指導事業

- 健診受診率の向上
 - ・30代の未受診者への、個別通知による受診勧奨。
 - ・若い世代の受診者数の増加を図るため、子育て支援課など他課と連携し、市内小中学校、幼児健診、赤ちゃん相談等での周知を強化。
- 保健指導実施率の向上
 - ・保健指導対象者へ、必要に応じて結果返却と同時に保健指導を実施。
 - ・若年者に効果的と考えられる運動支援プログラムを、保健指導として実施。

(4) 後発医薬品(ジェネリック医薬品)の普及・促進

- 引き続き個別通知等による後発医薬品の啓発を実施します。また国民健康保険運営協議会にて実績報告を行い、今後の対策について協議。
- 広報誌や窓口を設置している広告用モニターを使用した啓発を実施。

(5) 訪問健康相談事業

- 引き続き福岡県国民健康保険団体連合会に業務を委託し、必要に応じて被保険者に対し、お薬手帳を1冊にまとめることやポリファーマシー*に関する周知・啓発。

新たな保健事業の設定(R3年度~R5年度)